

しょう がっ こう きょう いく はじ  
小学校教育の始まり稲城市東長沼2111  
☎042-378-2111  
発行 2008. 3. 5

明治時代の卒業写真（明治41年）

稲城市域の村々では、江戸時代から寺子屋や私塾での教育が盛んでした。しかし明治時代になると、新政府の方針により、国民皆学をめざす小学校の設立がすすめられました。まず明治3年（1870）に郷学校の設立が命じられ、これを受けて明治4年には長沼村の常楽寺を教場として長沼郷学校が設立されました。明治5年には学制の発布により、国家的な義務教育制度として新しい小学校制度がスタートします。市域の村々では、明治6年に大円学舎（大丸村）、博文学舎（長沼村・百村）、立志学舎（坂浜村・平尾村）、潤身学舎（矢野口村）、明倫学舎（押立村）が発足し、明治8年には、学舎は学校と改称されました。当時の教員たちは、幕末期に寺子屋や私塾の指導者として活躍した教育者でした。

この当時の小学校は、上等・下等おのおの4年ずつの8年制で、下等から上等への進級には試験に合格しなければなりません。また学費納入の負担などから小学校制度への反発が残っており、明治9年（1876）当時の児童の就学率は学齢児童全体の6割程度でした（全国平均はさらに低く、3割前後）。

明治12年（1879）に政府は、「学制」を廃止して「教育令」を布告し、明治5年以来の教育制度は大きく変わります。この教育令は教育の自由化を進めるものでしたが、小学校制度への反発は依然として大きく、しだいに国家統制の強化へと転換していきます。明治13年当時、小学校は尋常小学校4年、高等小学校4年とされ、尋常小学校は義務となりました。

稲城市域では、明治10年代には矢野口尋常小学校（矢野口村）、済美尋常小学校（長沼村・百村・大丸村）、立志尋常小学校（坂浜村・平尾村）の三校体制となり、明治30年（1897）には、稲城尋常小学校（矢野口・押立・東長沼・百村）、大丸尋常小学校（大丸）、立志尋常小学校（坂浜・平尾）の三校体制ができ、以後この体制が長く続きます。（参考文献、『稲城市史下巻』）

# 学校教育の変遷表

現在	小学校	中学校																				
西暦	一八七二	一八七三	一八七五	一八七八	一八八〇	一八九三	一九一五	一九二六	一九四一	一九四七	一九五五	一九六六	一九七二	一九七五	一九七六	一九七七	一九八五	一九八八	一九九二	一九九五	一九九九	二〇〇三
和暦	明治4	"	"	"	"	大正2	"	昭和6	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	平成4	"	"	"
矢野口	淵身学舎 （山八郎宅）	朱野口学校	朱野口学校 （山八郎宅）	朱野口学校	朱野口小学校	朱野口小学校	朱野口小学校	朱野口小学校	朱野口小学校	朱野口小学校	朱野口小学校	朱野口小学校	朱野口小学校	朱野口小学校	朱野口小学校	朱野口小学校	朱野口小学校	朱野口小学校	朱野口小学校	朱野口小学校	朱野口小学校	朱野口小学校
相立	明倫学舎	押立学校	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	
東長沼	長沼郷学校 （常葉寺）	長沼郷学校 （常葉寺）	長沼郷学校 （常葉寺）	長沼郷学校 （常葉寺）	長沼郷学校 （常葉寺）	長沼郷学校 （常葉寺）	長沼郷学校 （常葉寺）	長沼郷学校 （常葉寺）	長沼郷学校 （常葉寺）	長沼郷学校 （常葉寺）	長沼郷学校 （常葉寺）	長沼郷学校 （常葉寺）	長沼郷学校 （常葉寺）	長沼郷学校 （常葉寺）	長沼郷学校 （常葉寺）	長沼郷学校 （常葉寺）	長沼郷学校 （常葉寺）	長沼郷学校 （常葉寺）	長沼郷学校 （常葉寺）	長沼郷学校 （常葉寺）	長沼郷学校 （常葉寺）	
百村	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	博文学舎 （常葉寺）	
大丸	大丸学舎 （宝蔵院）	大丸学舎 （宝蔵院）	大丸学舎 （宝蔵院）	大丸学舎 （宝蔵院）	大丸学舎 （宝蔵院）	大丸学舎 （宝蔵院）	大丸学舎 （宝蔵院）	大丸学舎 （宝蔵院）	大丸学舎 （宝蔵院）	大丸学舎 （宝蔵院）	大丸学舎 （宝蔵院）	大丸学舎 （宝蔵院）	大丸学舎 （宝蔵院）	大丸学舎 （宝蔵院）	大丸学舎 （宝蔵院）	大丸学舎 （宝蔵院）	大丸学舎 （宝蔵院）	大丸学舎 （宝蔵院）	大丸学舎 （宝蔵院）	大丸学舎 （宝蔵院）	大丸学舎 （宝蔵院）	
坂	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	
浜	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	
平尾	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	立志学舎 （宝蔵院）	

注 ①この表は、稲城市域の公立学校の変遷を概に示したものである。概面の都合により昭和30年代以降については学校と地域の間隔が必ずしも一致していない。  
 ②併立地区は昭和24年に編入されるまでは各原村の学区であったが、地理的な状況から稲城市域の学区の委託児童として通学していたので、ここに収録した。  
 資料『稲城市史 下巻』『稲城市史資料編3・4』『稲城市誌』『稲城の教育100年のあゆみ』『稲城第一中学校創立三十周年記念誌』